

豊浜小学校で米作り体験 ～「おいでまい」の田植え～

▼発生年月日：2023/6/16

▼執筆者名：廣瀬 充侍

▼センター名：西讃農業改良普及センター

▼部門分類：水稲

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 観音寺市立豊浜小学校では、令和4年度から総合学習として県育成品種「おいでまい」の米作り体験を実施しています。

本年度も同小学校から依頼があり、5年生（2クラス49名）を対象として、5月26日に座学及び籾播きを行い、6月16日に田植体験を実施しました。

2) はじめに、普及センターから苗の植え方や田んぼの歩き方など、田植えの方法を説明し、その後、田植体験を行いました。生徒は、泥の感触や田んぼの歩きづらさを体験しながら、楽しんで田植えを行うとともに、田植え後にはみんなで肥料を散布しました。

3) 質疑応答では、生徒から「肥料はどんな成分が入っているのか」、「今回は30cm間隔で苗を植えたけど、農家の人はどんな間隔で植えているのか」、「今のお米の値段は何円くらいか」など、多岐にわたった熱心な質問が多く寄せられました。

4) 今後は、秋に「稲刈り、ハゼ掛け」や「脱穀・精米」を行うなど、時期ごとの農作業体験を予定しており、最後は自分たちで作った「おいでまい」を食べることとしています。

5) 普及センターでは、関係機関や地元小中学校等と連携し、出前授業や農作業体験などを通じて、食の大切さや地域の農業の重要性等を深める取組みを支援します。



田植えの説明



田植体験の様子



田植え後のほ場